



「豊かな心」を育てるために

校長 奥 貴浩

本校は完全複式学級で、1学級あたりの子供たちの数が少ないながらもその特性を生かし、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて日々授業改善に取り組んでいるところです。2018年度から「特別の教科」となった道徳の授業においても、互いの考えを尊重しながら学び合うなど、よりよい生き方について子供たち同士で深く考える授業づくりを心がけています。さらに、「道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める（学習指導要領より）」大切な学びの場となることを意識しながら授業に力を入れています。

本校では、鹿児島県教育委員会の「地域が育む『かごしまの教育』県民週間」（11月1日～7日）」に合わせて実施する「学校自由参観日（今年度は11月4日～7日）」の中で「心の教育の日」を設定し、全学級が道徳の授業を公開するようにしています。今年度は11月5日に計画していた学校運営協議会（コミュニティ・スクール）に合わせて、保護者や地域の方々に子供たちの学びの姿をご覧いただけるようにしました。

授業では、まず個々で登場人物の気持ちになって考えたり、自分だったらどう行動するかについてじっくり考えたりした後、互いの考えを聞き合うなど、活発に交流しました。友達の考えに対して「なるほど、そう考えるのか」「自分の考えとは違うけれど、考えた理由を知ることができてよかったです」などと、自分と友達の考えを互いに認め合う授業となりました。異学年での学び（複式）の時間では、上級生が下級生の発言を丁寧に受け止めることで、下級生も安心して自分の考えを伝えている姿もありました。本校ならではの良さが、道徳の授業でも存分に発揮されていたと思います。



また、ICT機器の活用も大きな役割を果たしました。タブレットを使って自分の意見を短い言葉でまとめ、クラス全員で共有する場面では、普段はみんなの前で発表することに躊躇（ちゅううちよ）する子供も、自分のペースで落ち着いて考えを整理することができました。画面に表示された自分と友達の意見を比較することで、新たな気付きが生まれ、考えをさらに深めるきっかけとなりました。ICT機器は、あくまで子供たちの学びを支える補助的な役割ですが、本校では、誰もが自分らしく表現できるツールとしても積極的に活用しています。

これからも、道徳の授業だけでなく全教育活動において、子供たちの「考える力」「伝える力」「受け止める力」を育んでいくことを大切にしてまいります。そして、小規模校ならではの丁寧な関わりや温かい学びの雰囲気をさらに生かしながら、一人一人の成長をしっかりと支えていきたいと考えています。引き続き、保護者の皆様、地域の皆様にも本校の教育活動へのご理解とご協力を賜りながら、子供たちの「豊かな心」を育てる教育に努めてまいります。今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。

下は、学校運営協議会委員の方々から出された道徳の授業についての感想です。

- 道徳の授業では、子供たちが一生懸命自分の考えを伝えたり、友達の考えを聴いたりしていた。
- 先生方も子供の考えをよく聴くなど、いろいろな意見が出るような雰囲気作りに努めていた。
- タブレットで自分の考えを書き込んだり、自分の考えを書いたノートを写真に撮ったりして、みんなでタブレットやモニターで自分や友達の考えが確かめられるように工夫していた。
- 先生方が、授業でICT機器を使いこなせるように日々努力しているということが良く分かった。

地域が育む「かごしまの教育」県民週間

11月4～7日の「学校フリー参観」期間には、保護者や関係者、校区内外から御来校いただき、子供たちの学習の様子や校内施設を参観していただきました。誠にありがとうございました。期間中の取組の紹介です。

キャリア教育講演会

MBC南日本放送の岩崎全智アナウンサーをお招きして、職業の紹介や仕事への思いなどを語っていただきました。質問にも気さくに答えてくださいり、全員に原稿を準備して読む体験をさせてくださるなど、大変貴重な機会となりました。



たくさん失敗してもがんばって
いてすごいと思いました。出身地
が埼玉県なのもびっくりしました。
最後にお礼を言ったら「こちらこ
そありがとうございました。」と言
われて、またニュースで見たくな
りました。(5年I)

環境未来館SDGs講座

かごしま環境未来館の岩切敏彦先生が来校され、SDGsについてお話をしてくださいました。「ネイチャークイズ」や「SDGsすごろく」などで楽しく学ばせるとともに、具体的な数字で今の地球の危機的状況を伝えてくださいました。



地球温暖化で人々が体調をく
ずしたり、熊やクジラが食べ物
で苦しんだりしているから、自分
たちも自然を大切にしようと思
いました。学校に行けるのは当
たり前じゃないということも分
かりました。(4年M)

「心の教育」の日（学校運営協議会）

全学級で道徳の授業を行いました。学校運営協議会委員の方々にも参観していただいた後、給食の試食、学校運営についての話し合いを行いました。



校区高齢者の方々と「GG交流会」

3・4年生と高齢者学級とのグラウンド・ゴルフ(GG)交流が行われました。普段からきたえていらっしゃる



皆さんはさすがの腕前で、
子供たちもアドバイスをもら
いながら、年齢を超えて
白熱したゲームを楽しみま
した。12月の自治会対抗GG
大会に子供たちの参加が
増えるといいですね。

オレンジキッズプロジェクト in 横小

3～6年生を対象に、市社会福祉協議会による「認知サポート」養成講座が行われました。「地域を知り、ともに生きていくために、学びや
ふれ合いを通じてお互い様になれる関係」をテーマに学びました。後半は、末吉デイサービスの方々と認知症かるたを通じて交流を深めました。



12月の行事予定

- 9日（火）さんぺい号来校
3校合同「音楽鑑賞会」
- 10日（水）PTA交通安全指導(朝)
- 13日（土）土曜授業
保護者による「仕事紹介」
PTA忘年会
- 14日（日）校区自治会対抗グラウンド
- 21日（日）PTA（兼横社協3世代
交流）門松づくり（午前）
- 24日（水）2学期終業式
- 26日（金）校外生指連冬休み合同補導

自分の目標に向かって～陸上競技会～

10月29日（水）に栄楽公園グランドにて曾於市小学校陸上競技会が行われ、5・6年生が出場しました。本番へ向けて自分の記録更新を目指して練習に取り組み、友達と励まし合い練習をサポートし合うなど、どの子も心身ともに成長した姿を見せてくれました。



入賞おめでとう

- 曾於市「税を考える週間」作品展
書道の部 曾於市長賞
6年 椎屋 謙亮
- 曾於市小学校陸上記録会
男子走り幅跳び 第2位
5年 仮屋 謙雅